

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【公開番号】特開2008-129231(P2008-129231A)

【公開日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2008-022

【出願番号】特願2006-312623(P2006-312623)

【国際特許分類】

G 0 3 B 42/04 (2006.01)

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 42/04 A

A 6 1 B 6/00 3 0 0 S

A 6 1 B 6/00 3 0 0 W

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月6日(2009.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カセット内に放射線像を検出する 2 次元アレイ型の放射線検出センサを収容したカセット型放射線画像検出器であって、

前記放射線検出センサを支持するセンサ支持部材と、

前記センサ支持部材に設けられた第 1 の係合部材と、

放射線入射側とは反対側の前記カセット内面に前記第 1 の係合部材に対応して設けられた第 2 の係合部材と、

前記第 1 の係合部材と前記第 2 の係合部材との間に配置される緩衝部材と、

を有することを特徴とするカセット型放射線画像検出器。

【請求項 2】

前記第 1 の係合部材は、前記センサ支持部材から前記カセット内面に向けて突出する第 1 の突出部であることを特徴とする請求項 1 に記載のカセット型放射線画像検出器。

【請求項 3】

前記第 1 の突出部は、前記センサ支持部材の平面方向に沿って延在していることを特徴とする請求項 2 に記載のカセット型放射線画像検出器。

【請求項 4】

前記カセットは直方体形状であり、前記第 1 の突出部は、前記カセットの放射線入射面と直交する一側面の方向に沿って延在していることを特徴とする請求項 3 に記載のカセット型放射線画像検出器。

【請求項 5】

前記第 1 の突出部は、前記一側面と直交する他の側面の方向に沿って延在していることを特徴とする請求項 4 に記載のカセット型放射線画像検出器。

【請求項 6】

前記第 2 の係合部材は、前記カセット内面から前記センサ支持部材に向けて突出する第 2 の突出部であることを特徴とする請求項 1 ～ 5 の何れか一項に記載のカセット型放射線画像検出器。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

上記課題は、以下の発明を実現することにより達成される。

- １．カセット内に放射線像を検出する２次元アレイ型の放射線検出センサを収容したカセット型放射線画像検出器であって、
前記放射線検出センサを支持するセンサ支持部材と、
前記センサ支持部材に設けられた第１の係合部材と、
放射線入射側とは反対側の前記カセット内面に前記第１の係合部材に対応して設けられた第２の係合部材と、
前記第１の係合部材と前記第２の係合部材との間に配置される緩衝部材と、
を有することを特徴とするカセット型放射線画像検出器。
- ２．前記第１の係合部材は、前記センサ支持部材から前記カセット内面に向けて突出する第１の突出部であることを特徴とする１項に記載のカセット型放射線画像検出器。
- ３．前記第１の突出部は、前記センサ支持部材の平面方向に沿って延在していることを特徴とする２項に記載のカセット型放射線画像検出器。
- ４．前記カセットは直方体形状であり、前記第１の突出部は、前記カセットの放射線入射面と直交する一側面の方向に沿って延在していることを特徴とする３項に記載のカセット型放射線画像検出器。
- ５．前記第１の突出部は、前記一側面と直交する他の側面の方向に沿って延在していることを特徴とする４項に記載のカセット型放射線画像検出器。
- ６．前記第２の係合部材は、前記カセット内面から前記センサ支持部材に向けて突出する第２の突出部であることを特徴とする１～５項の何れか一項に記載のカセット型放射線画像検出器。